

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年9月30日(2010.9.30)

【公表番号】特表2010-506921(P2010-506921A)

【公表日】平成22年3月4日(2010.3.4)

【年通号数】公開・登録公報2010-009

【出願番号】特願2009-533352(P2009-533352)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

C 0 7 K 16/46 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/06 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 19/10 (2006.01)

A 6 1 P 19/08 (2006.01)

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)

C 0 7 K 14/715 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/395 N

C 0 7 K 16/46 Z N A

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 29/00 1 0 1

A 6 1 P 17/06

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 19/10

A 6 1 P 19/08

C 1 2 Q 1/02

C 0 7 K 14/715

G 0 1 N 33/15 Z

G 0 1 N 33/50 Z

G 0 1 N 33/53 P

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 37/02

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月12日(2010.8.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配列番号 10～15、22～38、および 45～56 からなる群より選択される配列を有する 4-1 B B L 遮断薬。

【請求項 2】

哺乳動物における炎症性サイトカインの産生を減少または炎症を緩和させるための方法であって、4-1 B B L 遮断薬を前記哺乳動物に投与する工程を含み、前記 4-1 B B L 遮断薬が、(a) 4-1 B B L に対して特異的なアンタゴニスト抗体と、(b) 細胞中の 4-1 B B L 核酸からの発現を減少させるために有効なオリゴヌクレオチドと、(c) 可溶性 4-1 B B とからなる群より選択される方法。

【請求項 3】

前記 4-1 B B L 遮断薬を投与する工程の前に、炎症状態にある哺乳動物、または炎症状態の危険性がある哺乳動物を同定する工程をさらに含む、請求項 2に記載の方法。

【請求項 4】

前記炎症性サイトカインが、腫瘍壊死因子または I L - 6 である、請求項 2 または 3に記載の方法。

【請求項 5】

前記哺乳動物がヒトである、請求項 2 または 3に記載の方法。

【請求項 6】

前記アンタゴニスト抗体が、4-1 B B L に対して特異的なキメラ抗体またはヒト化抗体である、請求項 2 または 3に記載の方法。

【請求項 7】

前記 4-1 B B L が、配列番号 1 または 2 の配列を有する、請求項 2、3 または 6に記載の方法。

【請求項 8】

前記 4-1 B B L 遮断薬が、配列番号 10～15、22～38、および 45～56 からなる群より選択される配列を有する、請求項 2 または 3に記載の方法。

【請求項 9】

前記可溶性 4-1 B B が、(a) ヒト 4-1 B B ポリペプチドのアミノ酸 1 からアミノ酸 186、(b) ヒト 4-1 B B ポリペプチドのアミノ酸 23 からアミノ酸 186、(c) マウス 4-1 B B ポリペプチドのアミノ酸 1 からアミノ酸 187、または (d) マウス 4-1 B B ポリペプチドのアミノ酸 24 からアミノ酸 187 に対応する配列を有する、請求項 2 または 3に記載の方法。

【請求項 10】

前記可溶性 4-1 B B が、配列番号 7、8、20 または 21 の配列を有する、請求項 9に記載の方法。

【請求項 11】

哺乳動物細胞による炎症性サイトカインの産生を減少させるための方法であって、前記細胞を 4-1 B B L 遮断薬と接触させる工程を含み、前記 4-1 B B L 遮断薬が、(a) 4-1 B B L に対して特異的なアンタゴニスト抗体と、(b) 細胞中の 4-1 B B L 核酸からの発現を減少させるために有効なオリゴヌクレオチドと、(c) 可溶性 4-1 B B とからなる群より選択される方法。

【請求項 12】

前記炎症性サイトカインが、腫瘍壊死因子または I L - 6 である、請求項 11に記載の方法。

【請求項 13】

前記哺乳動物がヒトである、請求項 11 または 12に記載の方法。

【請求項 1 4】

前記アンタゴニスト抗体が、4-1 B B L に対して特異的なキメラ抗体またはヒト化抗体である、請求項 1 1、1 2 または 1 3に記載の方法。

【請求項 1 5】

前記 4-1 B B L が、配列番号 1 または 2 の配列を有する、請求項 1 1、1 2 または 1 3に記載の方法。

【請求項 1 6】

前記 4-1 B B L 遮断薬が、配列番号 1 0～1 5、2 2～3 8、および 4 5～5 6 からなる群より選択される配列を有する、請求項 1 1 または 1 2に記載の方法。

【請求項 1 7】

前記可溶性 4-1 B B が、(a) ヒト 4-1 B B ポリペプチドのアミノ酸 1 からアミノ酸 1 8 6、(b) ヒト 4-1 B B ポリペプチドのアミノ酸 2 3 からアミノ酸 1 8 6、(c) マウス 4-1 B B ポリペプチドのアミノ酸 1 からアミノ酸 1 8 7、または (d) マウス 4-1 B B ポリペプチドのアミノ酸 2 4 からアミノ酸 1 8 7 に対応する配列を有する、請求項 1 1 または 1 2に記載の方法。

【請求項 1 8】

前記可溶性 4-1 B B が、配列番号 7、8、2 0 または 2 1 の配列を有する、請求項 1 7に記載の方法。

【請求項 1 9】

哺乳動物における炎症を緩和させるための方法であって、4-1 B B L 遮断薬を前記哺乳動物に投与する工程を含み、前記 4-1 B B L 遮断薬が、(a) 4-1 B B L に対して特異的なアンタゴニスト抗体と、(b) 細胞中の 4-1 B B L 核酸からの発現を減少させるために有効なオリゴヌクレオチドと、(c) 可溶性 4-1 B B とからなる群より選択される方法。

【請求項 2 0】

前記哺乳動物がヒトである、請求項 1 9に記載の方法。

【請求項 2 1】

前記炎症が、関節リウマチ、若年性関節リウマチ、乾癬性関節炎、乾癬、強直性脊椎炎、クローン病、関節リウマチ、全身発症性若年性慢性関節炎、骨粗鬆症、または過敏性腸症候群に関連する、またはそれらに起因する、請求項 2に記載の方法。

【請求項 2 2】

4-1 B B L 遮断薬を含有する容器および炎症性サイトカインの産生を減少させるために 4-1 B B L 遮断薬を使用するための取扱説明書を含む製品であって、前記 4-1 B B L 遮断薬が、(a) 4-1 B B L に対して特異的なアンタゴニスト抗体と、(b) 細胞中の 4-1 B B L 核酸からの発現を減少させるために有効なオリゴヌクレオチドと、(c) 可溶性 4-1 B B とからなる群より選択される製品。

【請求項 2 3】

前記 4-1 B B L 遮断薬を使用するための取扱説明書が、炎症状態の治療において前記 4-1 B B L 遮断薬を使用するための取扱説明書を含む、請求項 2 2に記載の製品。

【請求項 2 4】

前記炎症状態が、関節リウマチ、若年性関節リウマチ、乾癬性関節炎、乾癬、強直性脊椎炎、クローン病、関節リウマチ、全身発症性若年性慢性関節炎、骨粗鬆症、または過敏性腸症候群である、請求項 2 3に記載の製品。

【請求項 2 5】

前記炎症性サイトカインが、腫瘍壊死因子または I L-6 である、請求項 2 2、2 3 または 2 4に記載の方法。

【請求項 2 6】

前記 4-1 B B L が、配列番号 1 または 2 の配列を有する、請求項 2 2、2 3 または 2 4に記載の製品。

【請求項 2 7】

前記アンタゴニスト抗体が、４－１ＢＢＬに対して特異的なキメラ抗体またはヒト化抗体である、請求項２２、２３または２４に記載の製品。

【請求項２８】

前記４－１ＢＢＬ遮断薬が、配列番号１０～１５、２２～３８、および４５～５６からなる群より選択される配列を有する、請求項２２、２３または２４に記載の製品。

【請求項２９】

前記可溶性４－１ＢＢが、（ａ）ヒト４－１ＢＢポリペプチドのアミノ酸１からアミノ酸１８６、（ｂ）ヒト４－１ＢＢポリペプチドのアミノ酸２３からアミノ酸１８６、（ｃ）マウス４－１ＢＢポリペプチドのアミノ酸１からアミノ酸１８７、または（ｄ）マウス４－１ＢＢポリペプチドのアミノ酸２４からアミノ酸１８７に対応する配列を有する、請求項２２、２３または２４に記載の製品。

【請求項３０】

前記可溶性４－１ＢＢが、配列番号７、８、２０または２１の配列を有する、請求項２２、２３または２４に記載の製品。